

第1回 学校運営協議会議事録

参加者：加納由朗 日下部裕 渡口秀信 小田原剛 上杉宏治 川端直文
寺脇久人 上條藤夫 葛城雅之 花田志津江

(敬称略)

司 会：渡口秀信(教頭)

書 記：小田原剛(進路指導主事), 上杉宏治(生徒指導主事)

(1) 学校経営計画について

① 学校教育自己診断の保護者の回答数 一昨年度22.1%から昨年度18.5%に減少
子どもたちへの接し方が必要ではないか？

② 保育室の設置

③ 懲戒件数の減少

④ 欠席回数が増加

⑤ 中退率の減少

14期生は210名入学したが、そのうち193名が進級した。

⑥ 1年生は学び直しの機会として、小中の内容の教科指導であったが、2年生に進級するといよいよ高校の内容がスタートし、難しく感じている。

⑦ クラブ加入率、インターンシップ、学校斡旋による就職の増加

・ 学校教育自己診断の回収については、各学年により偏りはないか？

登校前に親と顔を合わせない。(子供が面倒くさい。)

懇談の時期にすれば、回収しやすいのではないか？

メール配信の利用もかんがえられる。イベントには保護者がもっと参加しやすいように。

富秋中学は懇談時に回収をしている。1年に1回だけでもいいのではないか。

昨年度は期間が短かったので、メール便の時期を早めてはどうだろうか。

SNSなどのネットの力が大きく、生徒から拡散させると広がる。

・ 授業満足度を増やす。(子供主体の授業の実施。)

文化祭のステージや食事などを盛り上げる。

体育祭の内容など(種目など)

遅刻者数等は減少しているが、その割に満足度は微増。

・ 平成31年度(令和元年度)について

自習室が必要。今後整備が必要となる。

(2) 進路状況について

昨年度 157名に対し、就職が81名、進学が45名であった。

求人数は増加傾向にある。

今年度132名に対し、71名が就職希望、61名が進学希望である。例年より進学希望が増加している。

なお就職希望71名のうち、60名が学校紹介の予定。

進学希望も、大学・短期大学が例年より多く、15名ほど。

進路情報により、詳しく記載するようにしている。

今年度は勉強会などを通じて、教員のレベルアップをめざす。

2年生はインターンシップに5名取り組む予定です。

キャリア教育コーディネーターの活用をしています。

進路実現に向けての計画は、当該学年だけでなく、キャリア教育コーディネーターをうまく活用しながら進めていく。

手帳を持っている生徒について、その支援が必要な場合が増えてきている。それに対し、手引き(ガイドライン)を考えていく。

(3) 生徒指導について

頭髪の日々の指導について、まずは口頭指導のみ。

(4) 教務より

- ・ 昨年度の1年生から2年生への進級率は95%（一昨年度は79%）
- ・ 今年の1年生の在籍状況は女子の方が多い。
- ・ 現在、増単位認定の資格の種類を増やすことを検討中です。

5. 全体協議

一井委員

- ・ 中退者の理由は何か？
→生活リズムが崩れている生徒が多い。（校長）
- ・ 満足度50%に表れているかも。

葛城委員

- ・ 令和4年度から完全実施の新学習指導要領に向けて、グループ学習を小中学校では進めているが、高校ではどうか？ また令和4年度を待たず、エンパワについては先取りすべきではないか？
→本校ではエンパワタイム（答えがない問いに取り組む）。（川端教諭）
→1年生では『産業社会と人間』でグループワークに取り組んでいる。（小田原教諭）
→他のエンパワではタブレット端末により、調べもの学習や発表を実施している（校長）

上條委員

- ・ 頭髪指導について、トラブル・問題の多い件なので、注意しながら行ってほしい。
→複数の教員で確認をしたり、3年生では生徒指導部長が最終確認をして、誤差がないように心がけている。
(上杉教諭)

花田委員

- ・ 体育祭、他校の様子を見ると、メガホンや衣装を作ったりするなど、団結する雰囲気があるが、その辺りが本校には不足している。
- ・ 文化祭については、もう少し時間を長くしてもらいたい。

上條委員

- ・ 行事について、保護者がもっと参加できるきっかけがあっても良い